

(1)町と日本工業大学との連携事業について

令和6年度 連携事業 全 19 事業

[令和5年度 全22 事業]

令和6年度 連携事業の取組について

No.	町担当	事業名及び概要	令和6年度の事業実績	事業の効果・課題等
1	地域支援課担当	町民まつり 町民主体のコミュニティまつり	■町民まつり 日時: 令和6年8月24日(土)、25日(日) 10時～20時30分 場所: 東武動物公園駅西口駅前通り コミュニティセンター進修館周辺 内容: 実行委員会への参加 (広報記録・イベント・安全美化委員会) 学生人数: 約70名 (写真部・撮り貴族・学生環境推進委員会・料理研究部)	町民まつりを支える若い力として実行委員会から期待されており、まつりのさらなる盛り上げにつながる。
2	地域支援課担当	進修館の修繕について考えよう(進修館オープンカレッジ) テーマを「進修館の修繕について考えよう。」として、進修館オープンカレッジでワークショップを開催。 【共催】 指定管理者: 特定非営利活動法人MCAサポートセンター	■進修館の修繕について考えよう 日時: 令和6年4月1日(月)～令和7年3月31日(月) 内容: 令和4年度のオープンカレッジからの継続事業として、コンクリート建築の劣化調査を実施。 大学教員: 建築学部建築学科 田中章夫 助教	コンクリート建築の劣化調査を継続して実施。また、ドローンを用いて劣化(雨漏り)箇所の調査を実施することができた。
3	地域支援課担当	進修館ラボ スキップ広場の活用について調査・実践を行う。 【主催】 指定管理者: 特定非営利活動法人MCAサポートセンター	■進修館ラボ スキップ広場の賑わい創出を目的に、令和3～5年度の調査結果をベースに、現状の利用状況やベンチ・テントなどを設置した場合の人の動線などの調査を行った。 日時: 令和6年4月1日(月)～令和7年3月 大学教員: 建築学部建築学科 木下芳郎 教授 学生人数: 4名	これまでの3年間の調査結果に基づき、スキップ広場に人が滞在する(人だまりができる)ためには何が必要か、という観点で動線調査を実施した。調査では、自作の日よけテントを制作し、その設置場所を移動したり、まとまった設置期間を設けることでスキップ広場の利用がどのように変化するかを検証し、結果をまとめることができた。
4	地域支援課担当	アートプロジェクト 進修館をアルバムにする 【共催】 指定管理者: 特定非営利活動法人MCAサポートセンター	■アートプロジェクト 進修館で撮影された写真を使い等身大パネルを作成して再現展示を行った。 令和7年3月23日(日)～30日(日)に実施のアートプロジェクト「へそたんけん2025」にて展示。 大学教員: 建築学部建築学科 生活環境デザインコース 勝木祐仁 教授	進修館の良さを、利用者個人の歴史という視点で表現しており、作品としての高い評価を得ている企画である。
5	環境資源推進課担当	西原自然の森活用事業 西原自然の森の魅力を感じてもらうため、福祉・文化・環境の3つが融合したイベントを実施する。	■西原自然の森フェスタ&すてっぷまつり 竹を使用した竹あそび(竹水鉄砲、竹はしご等)を行った。 学生は、当日の来場者対応等イベント運営を行った。 日時: 令和6年11月16日(土)10時～15時 場所: すてっぷ宮代 参加人数: 50名 学生人数: 1名	イベントの盛り上げに貢献している。学生が関わることで、子どもも気軽にイベントスペースに立ち寄れる雰囲気形成することができた。

No.	町担当	事業名及び概要	令和6年度の事業実績	事業の効果・課題等
6	子育ても笑顔支援担当	地域みんなで子どもたちの居場所づくり事業① 子どもが孤立しないための居場所づくりを行う人や活動を応援し、地域の人々が主体となった取り組みを広げる。また、学校に通えない児童生徒のため学外の場を整備し、心の居場所や学びの機会を提供する。	■辰新田こども広場 場所:辰新田集会所 日時 ①4月20日(土)10時30分～13時30分 参加人数:24名 学生人数:1名 ②10月19日(土)10時30分～13時30分 参加人数:24名 学生人数:1名 ■かしんだま文庫 もぐら体験 場所:かしんだま文庫 日時:令和6年4月21日(日)9時30分～11時 参加人数:11名 学生人数:1名 ■道佛集会所夏休み勉強会 場所:道佛集会所 日時:令和6年7月22日(月)～26日(金) 8月19日(月)～23日(金) 各13時30分～16時30分 参加人数:延べ211名 学生人数:8名 ■集まれこどもたち こどもの居場所で遊ぼう! 場所:すてつぷ宮代 日時:令和6年12月14日(土)10時～14時 参加人数:約300名 学生人数:3名	子どもたちにとって、年齢の近い大学生と過ごすことで、安心して遊び学習するなど見守りの場となっている。
7	健康高齢者介護支援担当	おかえりなさい地域デビュー事業 定年を迎えた世代が今までつながりが希薄であった地域で生き生きと活躍するため、地域デビューのきっかけづくりとなるイベントやワークショップなどを開催	■第4回はじめてのプログラミング講座 小学校4年生が学ぶ内容と同程度のプログラミングを学ぶもの。受講後は、小学校の授業のサポートができるように、宮代町プログラミング・ラボが支援。 日時:令和7年1月17日(金)～2月7日(金) 大学教員: 先進工学部 情報メディア工学科 松田洋 准教授 ※松田研究室の学生(6名)に受講生のサポート依頼	小学校のプログラミング授業をサポートすることで、シニアへ地元での活動機会を提供している。こうした活動が介護予防につながっている。
8	健康高齢者介護支援担当	認知症まちづくりミーティング 認知症に優しいまちを目指し、認知症の取り組みをきっかけに地元の方を巻き込む仕掛けを検討し、実施。	■ミーティングの開催(4月から毎月開催) ・図書館での認知症パネル展示 9月22日(日)～10月14日(月・祝) ・共に暮らし共に創る講演会 9月28日(土) 大学教員: ・建築学部建築学科生活環境デザインコース 勝木祐仁 教授、野口祐子 教授 ・教育研究推進室 沖田次朗 主任、三本松陽子 氏、守屋優奈 氏	・認知症予防の取組や成年後見制度等の普及啓発の場となっている。 ・認知症をきっかけに助け合いや支えあいの大切さを知ったり、活動者を発掘する機会となっている。
9	健康保健介護センター	献血推進事業 大学構内で献血を実施	■「献血」 第1回 令和6年4月15日(月) 62名 第2回 令和6年4月16日(火) 58名 第3回 令和6年4月17日(水) 47名 第4回 令和6年6月18日(火) 49名 第5回 令和6年9月27日(金) 58名 第6回 令和6年9月30日(月) 43名 第7回 令和7年1月9日(木) 54名 合計371名	学生及び大学職員の参加が見込めるほか、献血について普及啓発が期待できる。

No.	町担当	事業名及び概要	令和6年度の事業実績	事業の効果・課題等
10	産業 商業 工観 観光 課 ・ ふる さと 納税 担当	日本工業大学ビジネスプランコンテスト 産学連携起業教育センターが主催する「日本工業大学学生起業家支援プログラムビジネスコンテスト」に町が協賛。	■「第19回ビジネスプランコンテスト」 日時:令和6年10月28日(月) 場所:日本工業大学 学友会館 ・既に学内で選出された8点の優秀なビジネスプランの中から、今後の町の政策や産業振興に役立つことが期待されるビジネスプランの立案者に対して町長賞を授与。 ・町長賞受賞者(プラン名) 松永大翔氏(AIによるファッションサブスクリプションサービス「AutoMade」) サービス「AutoMade」への登録条件に合わせて利用者に似合う服が予算内で自動的に配送されるサービスの提案。	プレゼンテーションを行った学生と観覧者(企業)がジョイントし、実際のビジネスに発展する可能性もある。
11	教育 教育 推進 総務 課 担当	学校給食管理運営事業 栄養指導の際に活用する給食アプリの改良・活用	■給食アプリの改良・活用 令和5年度に開発した栄養教諭が小中学校の児童生徒を対象とした栄養指導を行う際に活用する給食アプリについて、引き続き、先進工学部データサイエンス学科荒川教授及び学生に協力いただき、現場の声を聞きながら改良した。 ゲーム感覚で栄養素等を学ぶことができるアプリ3種類について改良を加えながら、栄養指導において活用した。 大学教員: 先進工学部データサイエンス学科 荒川俊也 教授	子どもたちが興味をもって栄養素を学ぶことができるようになった。
12	教育 学校 推進 教育 課 担当	学力向上推進事業及びキャリア教育事業 児童生徒の学力向上や大学生のキャリア教育について、学生や大学教員と連携して各事業を行う。	令和6年度は、中学校3校とも受け入れなし。	・専門的な視点からの指導と体験により、児童生徒の学力の育成を図ることができる。 ・児童生徒一人一人の課題に応じた、基礎基本の定着を図ることができる。 ・学生の社会体験・職場体験を通して、豊かな人間性や社会性を身につけることに繋がる。
13	教育 学校 推進 教育 課 担当	プログラミング教育推進事業 社会の変化に対応した情報教育を推進する。	■「プログラミング教育」 総合的な学習の時間を活用し、町内すべての小学校4～6年生を対象として、児童に年4時間の授業を設定。主な内容として、小学生でもプログラミングができるソフト「Scratch(スクラッチ)」を用いてプログラミング的思考を学んだ。 日時:令和6年6月～令和6年11月 対象:町内の小学校4～6年生、年間4時間	・プログラミングの基礎的な知識や方法について学ぶ機会を提供することができた。 ・各学年児童の発達段階に応じて指導計画を修正し、実施することができた。 (課題) ・プログラミング教育の適切な実施時期や内容等について大学、教育委員会、小中学校で連携・協力し、改善を図る。

No.	町担当	事業名及び概要	令和6年度の事業実績	事業の効果・課題等
14	教育学推進 校推進 教育課 担当	日工大サイエンスプロジェクト 小中学校の理科の授業において、大学の施設や設備を使った専門家による科学実験を通して、子どもたちが興味をもって、自ら学ぶプロジェクトを実施する。	■日工大サイエンスプロジェクト ・小学校の理科の授業の実施 日時: 令和7年2月26日(水)、27日(木) 場所: 日本工業大学 対象: 須賀小、百間小、東小、笠原小の6年生 講師等: 共通教育学群(心理学) 瀧ヶ崎隆司 教授 共通教育学群(物理学) 佐藤杉弥 教授 共通教育学群(物理学) 服部邦彦 教授 SDGs for Engineers (学生) 学生環境推進委員会 ・中学校の理科の授業の実施 日時: 令和7年3月6日(木)、7日(金) 場所: 日本工業大学 対象: 須賀中、百間中、前原中の2年生 講師等: 共通教育学群(心理学) 瀧ヶ崎隆司 教授 共通教育学群(物理学) 佐藤杉弥 教授 共通教育学群(物理学) 服部邦彦 教授 基幹工学部応用科学科 芳賀健 教授 基幹工学部電気電子通信工学科 清水博幸 准教授 基幹工学部電気電子通信工学科 内野翔太 助教 先端材料技術研究センター 鈴木学 助手 ・日本工業大学の教員による小中学校の教員を対象にした研修の実施 日時: 令和6年8月26日(月) 場所: 日本工業大学 内容: 2学期以降の学習内容を中心とした研修 参加人数: 小中学校教員(21名)	理科の授業において、大学の施設や設備を使った専門家による科学体験を実施する。子どもたちの理科に対する興味・関心を高め、理科好きの子どもを育成し、自ら学ぶ児童生徒を育成する。
15	教 生 育 涯 推 進 学 習 課 ・ ス ポ ー ツ 振 興 担 当	子ども大学みやしろ 地域の学校、行政(県町)、企業、市民が連携して、子ども(小学校4～6年生)の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供する。	■「子ども大学みやしろ」 場所: 日本工業大学(全6回の講義のうち下記3回を大学側が担当) 対象: 町内在住の小学校4年生～6年生 講義内容: ①「ドローンを飛ばしてみよう! 〜レッツ・スクラッチ〜」 日時: 令和6年9月8日(日) 講師: 先進工学部情報メディア工学科 中村 一博 教授 ②「SDGsを学び、工作を通じて体験しよう!」 日時: 令和6年11月10日(日) 講師: 学生環境推進委員会 ③「からだをつかって遊べるゲームをつくろう!」 日時: 令和6年11月24日(日) 講師: 先進工学部情報メディア工学科 本池巧 教授 ・令和6年度子ども大学みやしろ実行委員会 学長: 先進工学部情報メディア工学科長 勝間田仁 教授 実行委員長: 共通教育学群 瀧ヶ崎隆司 教授	日常では得ることが難しい分野の学びや体験、交流の機会を提供し、子どもたちの学びの意欲の高揚等を促すことができた。
16	教 生 育 涯 推 進 学 習 課 ・ ス ポ ー ツ 振 興 担 当	みやしろ大学 宮代町にお住まいのシニア世代の方たちが、健康で心豊かに過ごすための知識や技術を向上促進していただく場。	■「みやしろ大学」 日時: 令和7年2月18日(火)10時～11時30分 場所: コミュニティセンター進修館 大ホール 講義内容: 「心の健康を考えるーストレスを中心にー」 講師: 共通教育学群 瀧ヶ崎隆司 教授	・シニア世代の向学心・知識欲への期待に応え、健康で心豊かな生涯学習活動に寄与する。 (課題) ・高齢化に伴い、事業の企画立案や大学運営を担う運営委員が減少している。運営委員の確保や会の在り方については課題。

No.	町担当	事業名及び概要	令和6年度の事業実績	事業の効果・課題等
17	教 生 育 涯 推 進 学 進 習 課 ・ ス ポ ー ツ 振 興 担 当	図書館運営事業 図書館の利用促進を目的に、図書館指定管理者が企画開催する。 【主催】 指定管理者：図書館流通センター	■日本工業大学特別講演会「認知症の人も当たり前に出できるまちづくりーパブリックトイレの研究ー」 日本工業大学特別講演会として、町民の生涯学習に資するよう、身近な例を挙げ最新の技術などを解説。 日時：令和6年10月14日（月・祝）14時～15時30分 場所：町立図書館 ホール 講師： 建築学部建築学科 生活環境デザインコース 野口祐子 教授	地元大学と公共施設の連携事例となった。
18	教 生 育 涯 推 進 学 進 習 課 ・ ス ポ ー ツ 振 興 担 当	図書館運営事業 図書館の利用促進を目的に、図書館指定管理者が企画開催する。 【主催】 指定管理者：図書館流通センター	■認知症合同展「あしたのわたしと認知症」 9月の認知症月間を受けて認知症への理解を深めるための合同展。パネル展示や映画上映を実施。 日時：令和6年9月22日（日）～10月14日（月・祝） 9時30分～16時 場所：町立図書館 展示ホール、ホール 大学教員： 建築学部建築学科 生活環境デザインコース 野口祐子 教授、勝木祐仁 教授	町健康介護課、町社会福祉協議会、地元大学との官民学連携事業となった。
19	教 生 育 涯 推 進 学 進 習 課 ・ ス ポ ー ツ 振 興 担 当	図書館運営事業 図書館の利用促進を目的に、図書館指定管理者が企画開催する。 【主催】 指定管理者：図書館流通センター	■「第30回おとなのための昔話と音楽のつどい」 日本工業大学吹奏楽団（演奏）と町立図書館を拠点に活動を行っている宮代おはなしの会「スウス」（昔話等のお話）のコロナボレーションにより毎年度開催している。 日時：令和7年2月23日（日・祝）14時～16時 場所：町立図書館 ホール 演奏：日本工業大学吹奏楽団	地元大学と市民活動団体、公共施設との連携事例となった。

その他の連携

■防災活動事業（災害時の町指定避難所としての活用）